

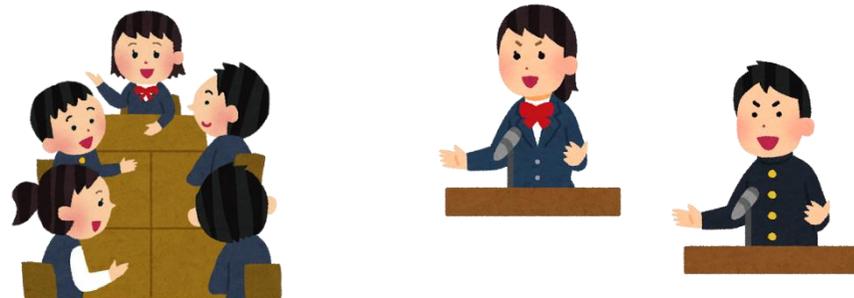
高1の2学期 ~114日間の過ごし方~

長い夏休みが終わり、2学期が始まりました。1学期最後の学年通信で、「43日間の過ごし方のイメージをつくり、具体的な計画をしっかりと作りましょう。」と記しました。何か成し遂げたことはありましたか？43日間なんて長く思えても、終わってみればあっという間です。時間は、ゆっくりと着実に過ぎていて取り戻すことができません。2学期は114日間あります。気付けばすぐに過ぎ去ってしまいますよ。高校生活に慣れたこの114日の過ごし方、目標達成に向けて具体的なイメージを作り、実りある時間にしていきましょう。まずは、類型・科目選択からです。自分の進路を定める大切な選択です。担任の先生ともしっかり相談し、決定して下さい。

第84期 生徒会役員 ~最高の青春の日々に向けて~

1学期末に、第84期生徒会役員認証式が行われました。46回生からも7名の生徒が立候補し、認証されました。これから、皆さんの学校生活が楽しく快適になるよう尽力してくれる人たちです。皆さんの応援よろしくお願いします！

1年	組	1年	組	1年	組
1年	組	1年	組	1年	組
1年	組				



祝 1年O組 OOOO君



国民スポーツ大会ボウリング競技 出場決定！

1年O組 OOOO君が、第78回国民スポーツ大会兵庫県選手団として選出されました。令和6年10月7日~8日に佐賀県で実施される国民スポーツ大会ボウリング競技（少年男子）に出場します。同級生の大舞台での活躍に、皆さん大きなYELLをよろしくお願いします！

OOOO君から一言！

近畿ブロック大会ではチーム戦で活躍することができ、本大会への出場権を獲得することができました。まだ練習する時間があるので、しっかりと練習を積み重ね、本大会で入賞できるようにしたいです。ただ、国民スポーツ大会に出場するだけでなく、結果を残して帰ってこれるように頑張ります！

9・10月の予定

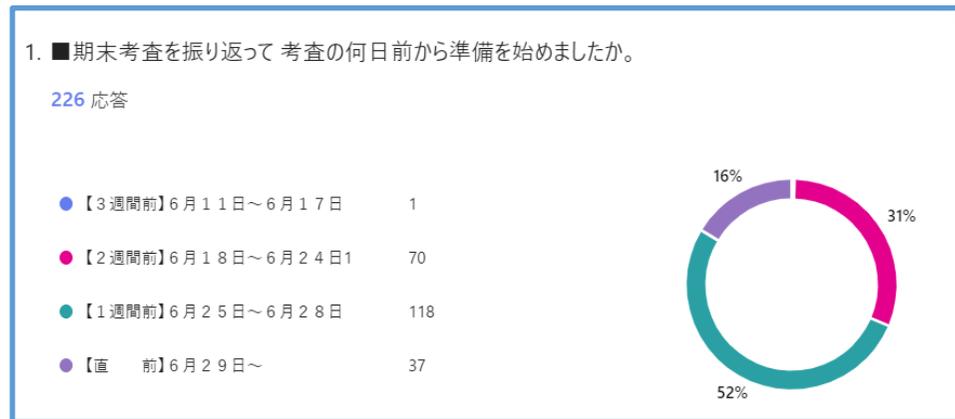
- 9月 2日 (月) 始業式・課題考査 類型科目選択1次調査用紙提出
- 9月 3日 (火) 課題考査
- 9月 4日 (水) 個人面談週間 (~9/11)
- 9月 9日 (月) 総合ヒューマン類型希望者集会
- 9月 17日 (火) 総合ヒューマン類型への変更希望願提出
- 9月 20日 (金) 登録用紙提出〆切
- 9月 28日 (土) オープンハイスクール
- 10月 1日 (火) 体育大会
- 10月 4日 (金) 体育大会予備日
- 10月 17日 (木) 中間考査 (~23日)
- 10月 23日 (水) 部活動清掃・ヒューマン校外学習
- 10月 25日 (金) 45分×6限授業 大掃除
- 10月 26日 (土) オープンハイスクール
- 10月 29日 (火) 芸術鑑賞会



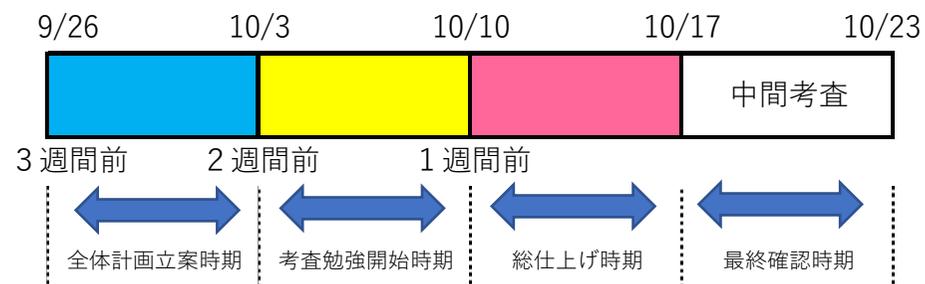
Good Preparation Campaign

～定期考査 2 週間前運動～

1 学期に「定期考査に向けて」のアンケートを実施しました。



その際に、定期考査 2 週間・3 週間前から準備を開始すると回答した人が約 8 割いましたが、実際に行動に移せた人は 3 割程度でした。この結果を受けて、2 学期から「GPC」(Good Preparation Campaign) を始めたいと思います。具体的には、考査 2 週間前から、考査に向けての勉強を始める習慣をつけることです。2 学期の中間考査は 10 月 17 日(木)から始まりますので、10 月 3 日(木)から考査に向けての勉強を始めていきましょう。しかし、よく考えてみて下さい。10/3 に始めるということは、その準備はその前から実施しなければなりません。つまり、3 週間前は中間考査が終わるまでの全体計画を立てる期間にして下さい。



この勉強習慣を 1 年生の間にきちんとつけて、2 年生・3 年生につなげて下さい。また、受験勉強についても、十分な準備期間と計画性のある勉強を確立することで、着実に力を付けていき、合格につなげていきましょう。

コラム

阪神甲子園球場

～100 年を支える献身と愛情～

先日「情熱大陸」で阪神甲子園球場の特集がありました。今年 100 周年を迎えた甲子園球場。その場所が聖地と呼ばれるのは、「少年を大人にする舞台」、「伝統の戦いを彩る劇場」など人々を魅了してやまないドラマを数多く生み出してきたからです。この番組では、甲子園球場に携わる様々な人々にスポットライトを当てています。まずは、甲子園のグラウンドを守り続ける阪神園芸の方々です。「阪神園芸の神整備」と呼ばれていますが、その裏には気の遠くなるような準備がありました。阪神タイガースOBの鳥谷敬さんは、「引退してからも自由に体を動かせるのは、あの土で長くやったおかげ」と述べていました。選手が万全の状態プレーに専念し、体への負担を最大限軽くするための土づくりをしているという阪神園芸のスタッフの言葉に、プロフェッショナルの本質を感じました。次は、場内アナウンス(通称ウグイス嬢)の方です。球場がどのような雰囲気になっても、「冷静に」「聞き取りやすく」「はっきり伝える」彼女たちの声は、紛れもなく甲子園を彩っていました。その裏には、先人から受け継いだ数多くのアナウンス技術を継承してきた歴史があります。「甲子園の声」にもこれから注目してみたいと感じました。最後は、球場の清掃スタッフの方々です。試合が終了し、観客が帰った後、散乱したゴミの清掃が始まります。その作業はその日のうちに終わらず、翌朝 7 時からも続いていました。鳥谷さんは、練習中、そのようなスタッフの姿を見て、「雨の中、拾っていたりとか、あと炎天下の中。そういう人たちの支えがあるんだっていうのが、非常に自分としては支えになりました」と改めて感謝していました。

数々のドラマを生み出す甲子園球場。その裏にあるもの、野球選手を輝かせているものは紛れもないスタッフの方々でした。「甲子園球場が好き」。それぞれに共通するこの思いが、甲子園球場を輝かせていました。

皆さんも今一度、自分たちが「当たり前」にできていることに目を向けてみて下さい。必ず、それを支えている人の存在は必ずあります。その人たちへの感謝の気持ちをもって日々の生活を過ごして下さい。また、「仕事」とは何のためにやっているのか。その仕事に誇りを持っているのか。仕事をしていくうえで最も大切なことです。皆さんも、「誇りを持てる仕事」に出会えるよう、今から将来についてしっかり考えていきましょう。

100 年！！

